

機能食品通信 第10号
 発行 (株)機能食品研究所

■今回のテーマ

- ・展示会にご来場いただき、ありがとうございました。
- ・2秒ごとに気をひくエトオの気になる内容。
- ・9月の茶話会(内科)の日程は9/6(月)または9/13(月)に
 なります。
- ・プラセボとの味の差について
- ・三重大学オフィスを開設しました。

10号です



機能食品研究所 梅田です。

いつも大変お世話になっております。

「別の部署の皆さんがお茶をする部屋にもバックナンバーを置きたいので、もう一式送ってください。

さい。」「転勤により全く違う分野の仕事に変わりますが、転勤先の住所

に引き続き送ってください。」「7/28(水)の茶話会の講師(皮膚科 機

田先生)のご紹介記事を見て、参加申し込みのFAXをしようと思いま

した。」「とごご連絡をいただきました。すごく嬉しいです。

■展示会にご来場いただき、ありがとうございました。

6/30(水)7/2(金)の3日間、東京ビックサイトでのインターフェックスジャパンに出店いたしました。

チラシ・名刺・紙パックのお茶の減り具合から数えますと私1人で600名の方とお話させていただいた事になります。

3日間の会期合計23(時間)を分に換算しますと約1,300分です。これを単純に割り算すると2分に1名の割合で何かしらのお話をさせていただいた計算になります。おかげでノドはカラカラ、身体はハトハトになりましたが、心残り無く丁寧に営業活動をする事が出来ました。



お立ち寄りいただきました皆様、自社ブースが忙しすぎて寄れずに「メンネ」ご連絡くださった皆様、展示会頑張ってくださいねとご連絡をくださった皆様、そのお気持ちに感謝しております。ありがとうございました。

ます。

■2秒1コマに気をひくビデオの気になる内容。

前号で書きました【来場者の方がブースを通り過ぎる時間が2秒なので、2秒1コマに気をひくビデオを作った。】というビデオの中身が気になるというお便りを多数いただきました。

なかには展示会の当日、自社ブースでお忙しい合間を縫って弊社ブースにお越しくださったり「ほほー、これは面白い。」「そのアイデアを使いたいので携帯でムービーを撮って良いですか?」「なるほど、コロンスの卵だね。感心」「梅田さん、あなたの声は雑踏の中でもスツと耳に届く声質だね。」「と褒めてくださった方もみえました。

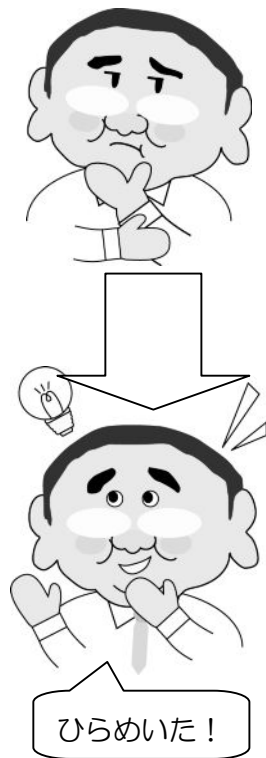
このビデオを完成させるまでに色々なパターンを試しました。

- ・2秒以内でキャッチコピーを早口で言う。
- ・2秒1コマにチーンとかポーンという効果音を出す。
- ・思わず目をひくようなダイナミックな動きの動画にする。

・・・は、い、い、想像のとおり出来映えはイマイチで、失敗。そこで初心に戻り、前号で出てきました【2秒1コマに気をひくビデオ】

コブクロさんの歌【について改めて考えてみました。】

歌手の声質・発声、作曲家のメロディ、作詞家の詞のどれも、おいそれと私が同じ事ができる訳はありません。しかし私がどうしても伝えたい単語は既に心に有るのだから、それを伝えようと思いました。



そこで私は

「食品・化粧品のヒト試験・臨床試験で」

という文字とナレーションが入ったスライドと

「安全性・機能性を証明いたします」

という文字とナレーションが入ったスライドを繋げ、合計13

秒のビデオを作りました。

ところで、弊社の売りのである「ヒト試験」「臨床試験」「安全性」「機能性」のどれか一つを2秒毎に見聞きしていただければ良いという作戦です。

そうすれば、その内容に興味がある方であれば、ビデオの全て(13秒)を見聞きしていただくのと思ったのです。

そして、その読みは正解でした。

おかげで、3分に1名の割合で初対面の方々(約400名)が「チラシを頂戴」と、立ち寄ってくださいました。

■9月の茶話会(内科)の日程は9/6(月)または9/13(月)になります。

いよいよ、皮膚分野をテーマにした茶話会が7月28日(水)に迫って参りました。今回は、9月の内科分野の茶話会の候補日についてお知らせいたします。

9月の講師をしていただく西川政勝先生(医師)は、三重大学医学部臨床創薬研究学講座の教授、みえ治験医療ネットの常務理事、三重大学医学部附属病院 臨床研究開発センターのセンター長などを兼任されておられる治験・臨床試験のエキスパートです。さらに弊社の育ての親のおひとりでもあり、いつも弊社の内科分野の試験の統括医師や、皮膚分野や眼科分野などで経口摂取が必要な場合の安全性アドバイザー医師をお引き受けいただいております。

そして茶話会の候補日ですが、第1候補が9月6日(月)、第2候補が9月13日(月)となります。開催予定は未定です。時間は12時～15時、場所は三重県津市の弊社を予定しております。決定した日時は

次号でお知らせさせていただきます。ご興味ただけましたらご参加お待ちしております。

【現在決まっている茶話会】

7月 医学部 皮膚科学講座

磯田憲一先生「皮膚試験や美容用品の試験について」

9月 みえ治験医療ネット・医学部 臨床創薬研究学講座

西川政勝先生「内科試験・経口摂取が必要な試験について」

11月 工学部 物理工学科 ナノセンシング研究室

野呂雄一先生「音による痒み評価の方法と技術について」

■プレセボとの味の差について。

前号の記事で被験者さんが被験物質の味について話題に出されないよう啓蒙をしていますと書きました。

そして、その記事について質問をいただきました。他にも同じ事を思われた方が居るかもしれないと思いますので、補足説明を申し上げます。前号にて、被験物質の味について「アップル味だね」「アップル味だけれど少し苦さがあるね」「え、あれってアップル味だっけ?」と被験者さん同士が話をされると正しい比較試験では無くなるので気をつけていると書きました。

「質問をしてくださった方は「あれ?」どの群も味が同じにしてあるよね?」「と思われたそうです。

そうです、どの群も味の無いことが原則です。でも、なぜか

トによって違うものの味に感じてしまう経験が実際にあるのです。

昨年、探偵ナイトスクープという関西の番組で「パウパウ」というギヤグや阪神の掛布さんのモノマネで有名な松村邦洋さんが、視聴者より寄せられた日常の謎を探偵として調査されていました。

視聴者さんから寄せられた葉書に「高速道路でトンネルに入ると、かき氷の味が、何味だったか分からなくなる。」と書いてあったので、さっそく松村さんがチャレンジされました。トンネルに入るとイチゴ味とメロン味とブルーハワイ味のかき氷の色が全てトンネルのライトのオレンジ色になってしまったうえ、食べてみても味の区別が付かなくなってしまったのです。

更にその先が面白く、青空の下で緑色の紙を見ながらイチゴ味を食べた松村さんが「メロン味がする」、赤色の紙を見ながらブルーハワイを食べた「イチゴ」です」とアベコベな事を言い出して、スタジオが大爆笑。その番組に解説で出演された専門家の先生いわく「味の情報が、目で見ただ情報に頭の中で置き換えられてしまう事がある。」とのこと、醤油などのような味と香りの特徴がハッキリしている味であればそういう事は無いけど、シロップのベースに薄く果物の味付をしてある【かき氷】ともなると特徴が弱いので、その現象が起きやすくなる事です。

その放送を見て、私は「褐色瓶に入っているドリンクは同じ事が起き

そうだな。たぶん香りを嗅がずに飲まれるだろうから、飲むときに味を判断する情報は舌だけ。だから冷蔵庫や部屋の壁紙の色から連想される果物の味を感じる方が居るかもしれない。」と思うと同時に「味を当てましようというクイズ付きのお菓子は、臭いの無い部屋で目を閉じて食べよう」とも思った梅田でした。

■三重大学オフィスを開設しました。

三重大学の先生を交えた会議や、その会議の前にお客様と行なう事前会議、三重大学医学部附属病院でヒト試験（食品試験・臨床試験）を行う時の拠点として三重大学内のオフィスを貸していただく事になりました。詳細はホームページや次号でお知らせさせていただきます。

【news】 健康産業新聞(5月19日)、フレグランスジャーナル(6月号)、ほっとイブニング(NHK総合 7月5日)にて、弊社をご紹介いただきました。

回覧・印

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございました。差し支えが無ければ回覧いただけると幸いです。